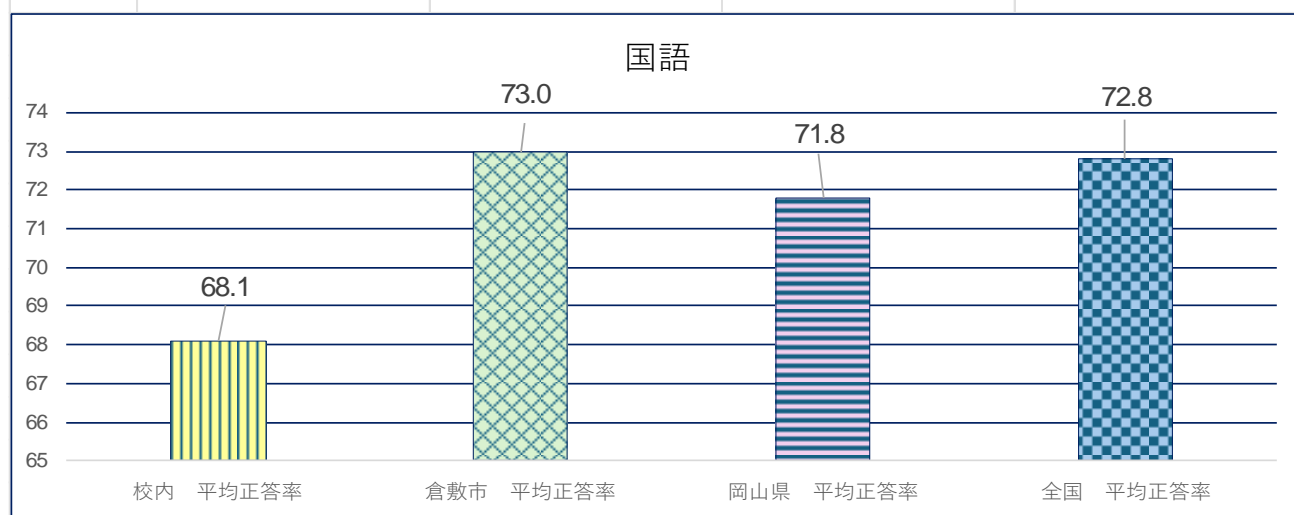


令和6年度岡山県学力調査（3年生～5年生）の結果のお知らせ

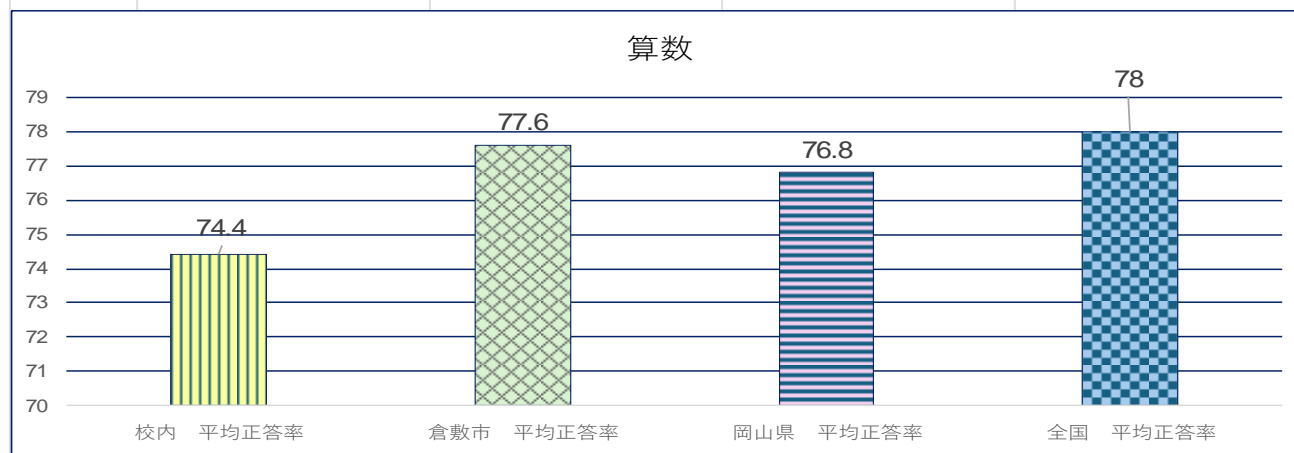
今年度4月末に行われた「岡山県学力調査」の結果が公表されました。今回の学力調査結果をもとに、本校では児童の課題を把握し、これからの学習指導及び生活指導に生かすなど、有効に活用していきたいと考えています。3年生～5年生の結果概要及び全体の傾向は次の通りです。

3年生

	校内 平均正答率	倉敷市 平均正答率	岡山県 平均正答率	全国 平均正答率
国語	68.1	73.0	71.8	72.8



	校内 平均正答率	倉敷市 平均正答率	岡山県 平均正答率	全国 平均正答率
算数	74.4	77.6	76.8	78



国語科は平均正答率が全国平均、岡山県平均、倉敷市平均より4～5割、算数科も2～3.5割程度下回りました。

国語科では漢字を読むこと、書くこと、筆順が各級の正答率から大きく下回っていることから、これまで学習してきた文字についての復習と定着が喫緊の課題となります。また、ひとまとまりの文を書くことも正答率が低いのは、文字の力の影響もあると考えられます。

算数科では、数の大小の判断や量の感覚はよいのですが、国語科と同様に基本的な加減の計算や九九の習熟が十分でない児童がかなり見られました。また、グラフから必要な数量を読み取ることや図形の基本的な性質や知識の面でも定着の不足が見られました。まだ十分に定着ができていない状況が見られた結果につきましては、今後の課題と捉え、改善を図っていきたいと考えています。

○国語科における成果

- ・場面の様子や登場人物の気持ちなど、内容の大体を捉えること

●国語科における課題

- ・漢字を正しく読むこと、書くこと
- ・読み取ったことや自分の考えを文章に表すこと

○算数科における成果

- ・数の大小と不等号の意味を理解していること。
- ・加法の結合法則を用いた式の表し方を理解している。

●算数科における課題

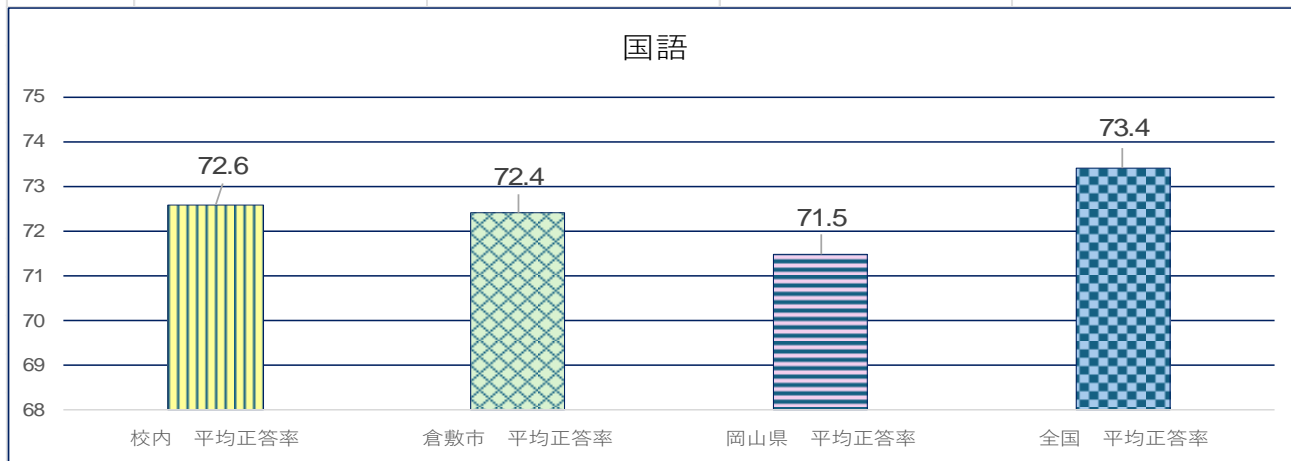
- ・繰り上がり2回のたし算、繰り下がり1回の引き算、波及的繰り下がりの引き算
- ・九九
- ・基本的な図形の作図と頂点、辺の数などの基本的な知識
- ・グラフからの適切な数値の読み取り

学校としましては、次のことに取り組んでいきます。

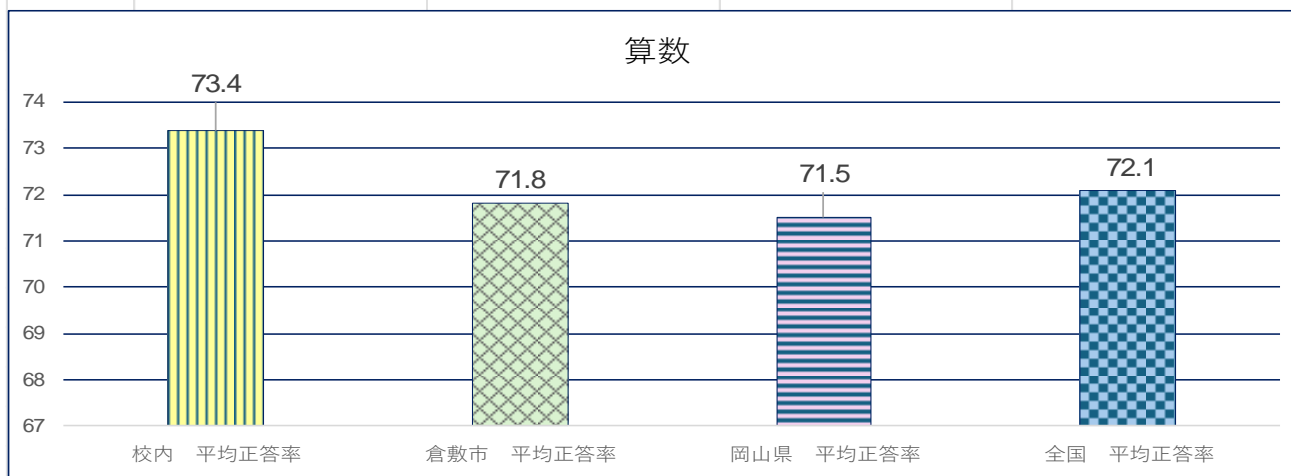
- ① 宿題やチャレンジタイムでこれまでに履修した漢字や計算等の基本的な内容の反復練習繰返し行い、学習の基礎となる力（特に九九の確実な定着）を伸ばしていきます。定着の度合いの違いによって個別に適切な課題を課すことで、主体的、意欲的な学習を促します。
- ② 定期的な復習の機会を設けることで、定着の徹底を図っていきます。
- ③ 図形の学習では今以上に体験的活動の量を増やし、実際に見たり触れたり作ったりする「数学的活動」の充実を図ります。
- ④ 平素の授業においては、引き続き学習のめあてや振り返りを授業の始めと終わりに位置付け、児童が学びの成果を実感できるようにします。

4年生

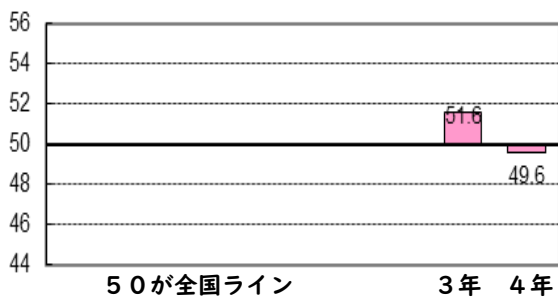
	校内 平均正答率	倉敷市 平均正答率	岡山県 平均正答率	全国 平均正答率
国語	72.6	72.4	71.5	73.4



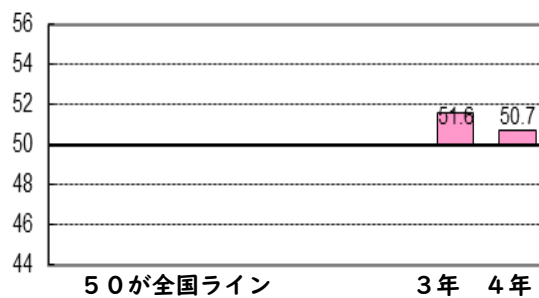
	校内 平均正答率	倉敷市 平均正答率	岡山県 平均正答率	全国 平均正答率
算数	73.4	71.8	71.5	72.1



同一集団の学力推移・標準スコア (国語)



同一集団の学力推移・標準スコア (算数)



国語科では、全国の平均正答率には若干届かなかったものの、岡山県、倉敷市をやや上回りました。しかし、3年生と同様に漢字の読み書きに課題が残りました。主語・述語の関係やローマ字などは理解度が高かったです。また、文の内容を適切に読み取ったり、自分の考えを文章に表したりすることはよくできています。ただ、2段落構成で文を書く課題の正答率が各級正答率から比べてもかなり低く、こういった条件に沿って文を書くことの習熟が求められます。

算数科では、全国、岡山県、倉敷市の平均正答率を約1～2割上回りました。どの領域でも平均的によくできていましたが、かけ算、割り算が正確にできることや、かけ算や割り算を用いた立式を適切に行うことは中でもよくできていました。ただ、基本的な図形の作図では正答率が低く、図形についての基本的な知識や作図に使う道具の適切な使い方などについては復習が必要です。

○国語科における成果

- ・主語と述語との関係について理解していること
- ・登場人物の様子について、叙述を基に捉えていること
- ・一まとまりの文章を書こうとする意欲

●国語科における課題

- ・履修済みの漢字の読み書き
- ・中心となる語や文を見付けて要約すること
- ・課せられた条件に即して文章を書くこと

○算数科における成果

- ・小数や分数の概念と基本的な計算
- ・加減乗除の計算が正しくできる あまりのある割り算
- ・乗法の式が正しく立式できる
- ・□を使った文章問題（乗法の場面）を表した図の構造をとらえられる

●算数科における課題

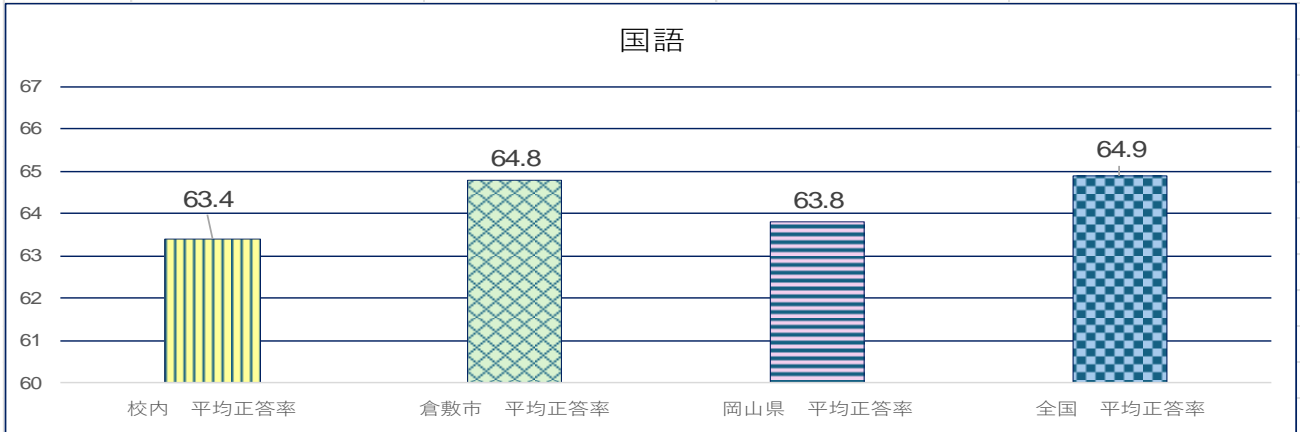
- ・二等辺三角形など基本的な図形を正しく作図すること

学校としましては、次のことに取り組んでいきます。

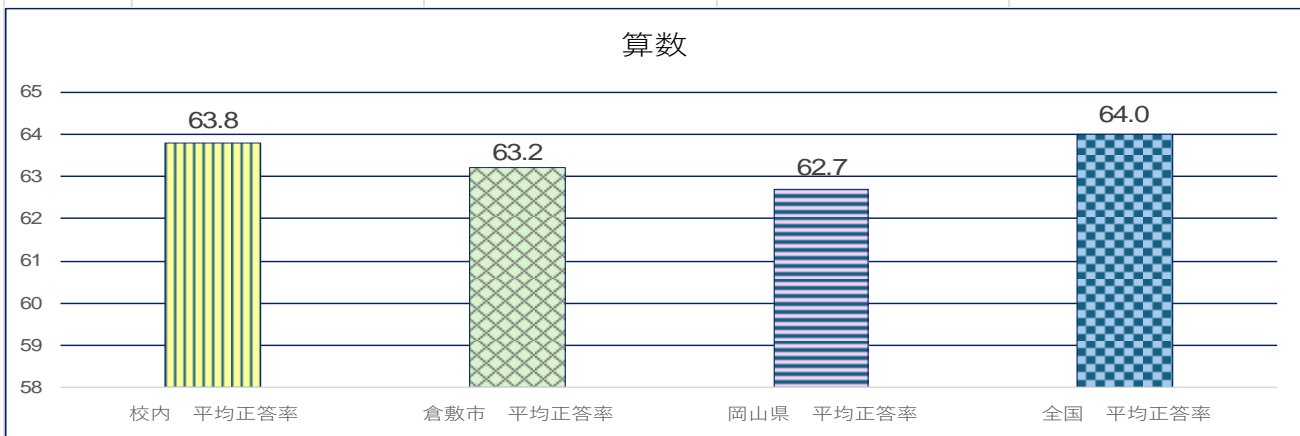
- ① 宿題やチャレンジタイムでこれまでに履修した漢字や計算等の基本的な内容の反復練習繰り返し行い、学習の基礎となる力（特に漢字の読み書き）を伸ばしていきます。定着の度合いの違いによって個別に適切な課題を課すことで、主体的、意欲的な学習を促します。
- ② 平素からひとまとまりの文を書く際には、様式、量、内容などに条件を付け、その条件に沿った記述を課するようにします。
- ③ 平素の授業においては、引き続き学習のめあてや振り返りを授業の始めと終わりに位置付け、児童が学びの成果を実感できるようにします。また、根拠を明確にしながら説明したり、振り返りなど自分の言葉で記述していく機会をさらに充実させたりして、学習の成果が高まっていくように努めます。

5年

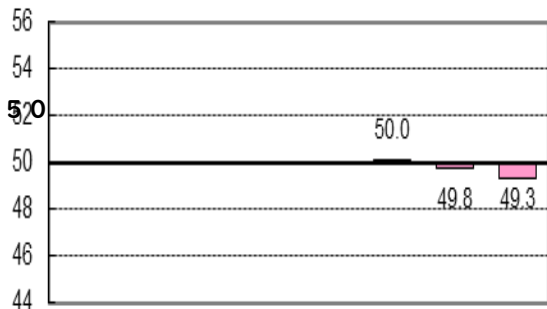
	校内 平均正答率	倉敷市 平均正答率	岡山県 平均正答率	全国 平均正答率
国語	63.4	64.8	63.8	64.9



	校内 平均正答率	倉敷市 平均正答率	岡山県 平均正答率	全国 平均正答率
算数	63.8	63.2	62.7	64.0

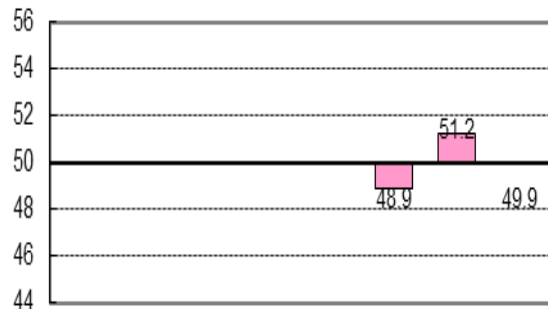


同一集団の学力推移・標準スコア（国語）



50が全国ライン 3年 4年 5年

同一集団の学力推移・標準スコア（算数）



50が全国ライン 3年 4年 5年

国語科では、岡山県の平均正答率とはほぼ同等ですが全国、倉敷市より1.5割程度下回りました。標準スコアの経年変化を見てみると僅かずつではありますが全国平均からは離れて行っている傾向が見られます。行動を表す語句、語彙や、ことわざなど言語に関する知識や漢字辞典の引き方などが正答率も低く、各級正答率から下回っている傾向が見られました。また、叙述を基に文章の内容を捉えたり段落相互の関係を理解したりすることにも課題が見られました。しかし、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして文章を書くことや課せられた条件に沿って文を書くことはできており、言語力の基礎部分が固まればさらに力を伸ばせる可能性があるのではないのでしょうか。

算数科では全国の平均正答率とほぼ同等、岡山県、倉敷市よりは1割程度上回りました。標準スコアで経年変化を見ると、昨年度かなり大きな伸びが見られ全国平均も上回りましたが、今年度は同等程度になっています。算数科では、2つの数量の関係を、もとの大きさの何倍になったかを考えて比べることのような関数的な考え方や小数や分数の概念理解と正しい計算方法の理解などは正答率が高く、定着の度合いも高いことが分かります。しかし、これまで何度も調査問題として出題された分度器の正しい読み方の問題では各級平均正答率をかなり下回りました。論理的な考え方ができる反面、定期的な復習により定着率を上げるという点で課題が残りました。

○国語科における成果

- ・話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。
- ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして文章を書くこと
- ・課された条件に即して文章を書くこと

●国語科における課題

- ・語彙の豊かさ、ことわざなど言語に関する事項
- ・漢字辞典の正しい使い方
- ・叙述を基に文章の内容を捉えたり段落相互の関係を理解したりすること

○算数科における成果

- ・もとの大きさの何倍になったかを考えて比べることのような関数的な考え方
- ・小数や分数の概念理解と正しい計算力

●算数科における課題

- ・基本的な図形の作図
- ・分度器を正しく使い角度を読むこと

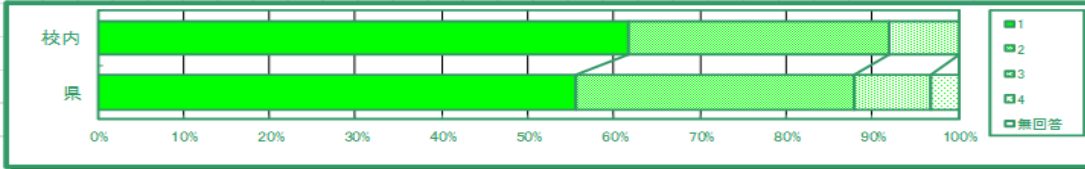
学校としましては、次のことに取り組んでいきます。

- ① 宿題やチャレンジタイムで基本的な内容の反復練習や基本的内容を活用した応用問題を繰り返し行うとともに、定期的・計画的にこれまで学習してきたことの復習を行い、定着の度合いを高めていくように努めます。また、言葉の力を確実にして、文章を正しく的確に読み取る力を伸ばします。
- ② 平素の授業においては、引き続き学習のめあてや振り返りを授業の始めと終わりに位置付け、児童が学びの成果を実感できるようにします。また、日常の事象を、算数の問題の中に取り入れるようにして、学習と日常生活を結び付けていきます。

5年生では「学習状況調査」もありました。いくつか参考となる結果は次のとおりです。

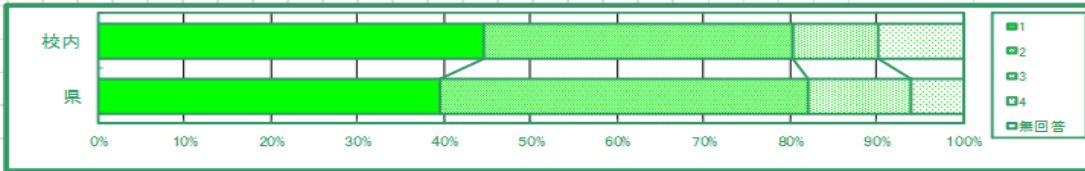
1 (1) 学校に行くのは楽しいと思う。

	1 当てはまる	2 どちらかとい えば、当て	3 どちらかとい えば、当て	4 当てはまら ない	無回答	肯定的 回答	県との差
校内	61.8	30.1	8.1	0.0	0.0	91.9	3.9
県	55.5	32.5	8.7	3.3	0.0	88.0	



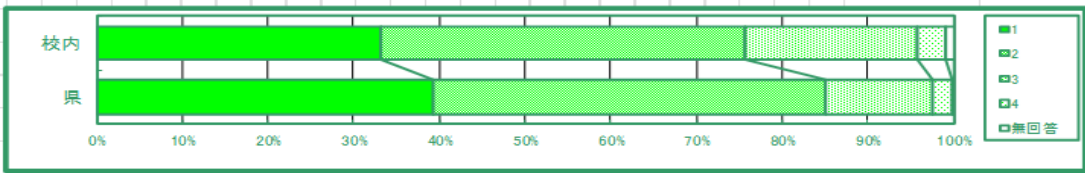
1 (2) 自分には、よいところがあると思う。

	1 当てはまる	2 どちらかとい えば、当て	3 どちらかとい えば、当て	4 当てはまら ない	無回答	肯定的 回答	県との差
校内	44.7	35.8	9.8	9.8	0.0	80.5	-1.6
県	39.7	42.4	12.0	5.9	0.0	82.1	



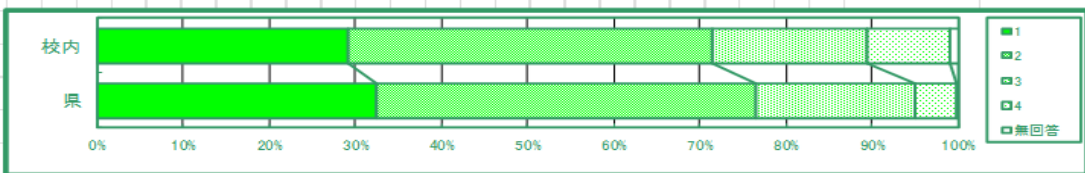
1 (7) 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。

	1 当てはまる	2 どちらかとい えば、当て	3 どちらかとい えば、当て	4 当てはまら ない	無回答	肯定的 回答	県との差
校内	33.3	42.3	20.3	3.3	0.8	75.6	-9.5
県	39.3	45.8	12.4	2.4	0.1	85.1	



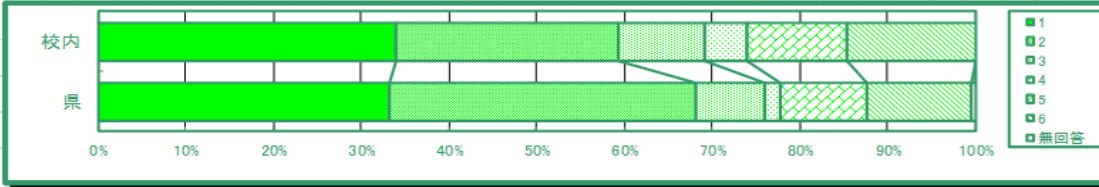
1 (8) 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している。

	1 当てはまる	2 どちらかとい えば、当て	3 どちらかとい えば、当て	4 当てはまら ない	無回答	肯定的 回答	県との差
校内	29.3	42.3	17.9	9.8	0.8	71.6	-5.1
県	32.6	44.1	18.5	4.8	0.1	76.7	



2 (13) 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。

	1 きちんと守っている	2 だいたい守っている	3 あまり守っていない	4 守っていない	5 携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、使っていない	6 携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持っていない	無回答
校内	34.1	25.2	9.8	4.9	11.4	14.6	0.0
県	33.2	35.1	7.7	1.7	10.0	11.9	0.4

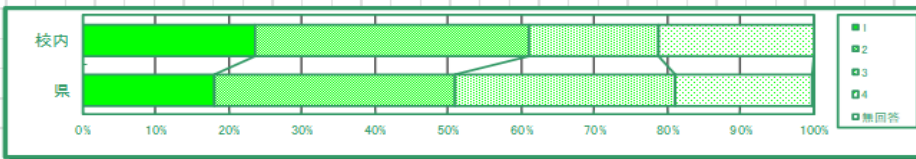


肯定的回答	県との差	約束なし	県との差	持っていない	県との差
59.3	-9.0	11.4	1.4	14.6	2.7
68.3		10.0		11.9	

2 (15) 宿題以外の自主的な学習(学校の授業の予習や復習など)に、週に何回ぐらい取り組んでいますか。

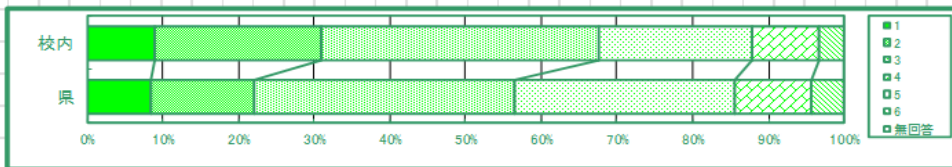
	1 週に4回以上	2 週に2~3回	3 週に1回	4 全くしていない	無回答
校内	23.6	37.4	17.9	21.1	0.0
県	18.2	32.8	30.2	18.6	0.2

肯定的回答	県との差
61.0	10.0
51.0	



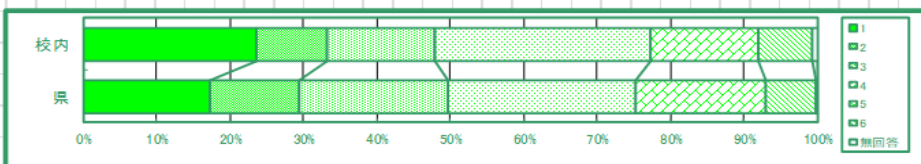
2 (17) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます)。

	1 3時間以上	2 2時間以上、3時間より少ない	3 1時間以上、2時間より少ない	4 30分以上、1時間より少ない	5 30分より少ない	6 全くしない	無回答	1時間以上	県との差
校内	8.9	22.0	36.6	20.3	8.9	3.3	0.0	67.5	11.1
県	8.4	13.8	34.2	29.1	10.2	4.2	0.1	56.4	



2 (19) 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます)をしますか。

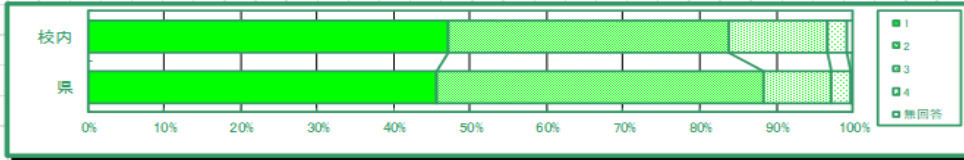
	1 4時間以上	2 3時間以上、4時間より少ない	3 2時間以上、3時間より少ない	4 1時間以上、2時間より少ない	5 1時間より少ない	6 全くしない	無回答	2時間以上	県と差
校内	23.6	9.8	14.6	29.3	14.6	7.3	0.8	48.0	-1.7
県	17.2	12.3	20.2	25.4	17.9	6.7	0.2	49.7	



3 (25) 国語の授業の内容はよく分かる。

	1 当てはまる	2 どちらかとい えば、当て	3 どちらかとい えば、当て	4 当てはまら ない	無回答
校内	47.2	36.6	13.0	2.4	0.8
県	45.5	42.8	8.9	2.5	0.3

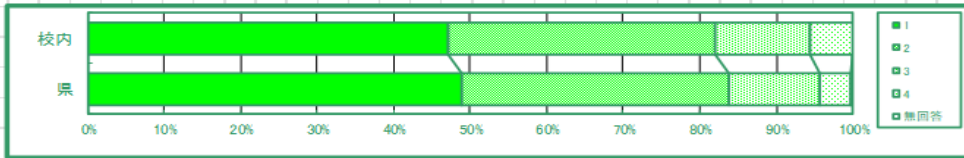
肯定的 回答	県との差
83.8	-4.5
88.3	



3 (26) 算数の授業の内容はよく分かる。

	1 当てはまる	2 どちらかとい えば、当て	3 どちらかとい えば、当て	4 当てはまら ない	無回答
校内	47.2	35.0	12.2	5.7	0.0
県	48.8	35.0	11.8	4.1	0.3

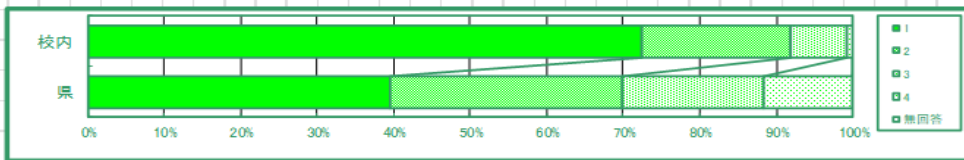
肯定的 回答	県との差
82.2	-1.6
83.8	



3 (27) 英語の勉強は好きだ。

	1 当てはまる	2 どちらかとい えば、当て	3 どちらかとい えば、当て	4 当てはまら ない	無回答
校内	72.4	19.5	7.3	0.8	0.0
県	39.5	30.5	18.3	11.6	0.1

肯定的 回答	県との差
91.9	21.9
70.0	



- ・学校に来ることが楽しい児童は県平均より高くですが約92%でした。
- ・自己肯定感は逆に県平均よりやや低く、約81%の児童が「自分にはよいところがある」と感じています。
- ・自主性、主体性、根気といった面では5～10%県平均より低く、課題が見られます。
- ・家庭学習を毎日1時間以上している児童の割合は約68%で県平均より約11%高い結果でした。家庭でのまとまった時間の学習習慣が身につけていることがうかがえます。自主学習の習慣がついてきていることも効果として現れていると思われます。
- ・5年生では所持率が85%となっているスマートフォンの使い方はこれからも課題となり続けるのではないかと思います。家庭での使い方を守っているのは県より9ポイント低い約60%でした。約束自体がないのも10%で、このことについては家庭とも一緒に協議をしていきたいと思えます。
- ・ゲームに費やす時間は、2時間以上が48%と県とほぼ同等でしたが、詳しく見ると、4時間以上は

23. 6%と全体の約1/4にあたります。この時間になると家庭学習時間や睡眠時間に影響が出ている可能性が高いと思われます。引き続き、メディアコントロールの取組を継続していきます。

・国語の授業内容がよく分かると回答しているのが83.8%（県よりは4.5%低い）、算数は82.2%（県と同等）と8割以上が国語、算数の授業がよく分かると回答しています。

・英語の学習が好きと回答したのは91.9%と9割を超えました。県より2.2%高く（6年生もほぼ同じ）、本校の大きな特長です。